

## フェンシング日本代表 合同キャンプ



2月20日～24日、フェンシング日本代表（フルレ／U-20・U-17）合同キャンプが市内で行われ、日本各地から集まった代表選手に、国体の鹿児島県代表候補選手も加わり、総勢30人が参加しました。参加した選手は、「今回学んだことを、継続して成果を上げたいと思います」と話したり、「垂水市の食や温泉で身体と心が癒されました」と話したりしていました。また、コーチの皆さんから、たるみずフェンシングクラブの子どもたちへの指導も行われ、貴重な機会となりました。

## 第20回若草文学賞 「感動・よろこび」



2月15日、第20回若草文学賞表彰式が垂水市市民館で行われました。これは、市内小中学生がテーマに沿って作文を書くことで、豊かな感性や情緒を育み、思考力と表現力の向上を目的に垂水市文化協会が毎年開催しているものです。今年のテーマは「感動・よろこび」で、小学生65点、中学生9点の作品が出品されました。表彰式では、朗読も行われ、子どもたちの「感動・よろこび」の体験が発表されました。今年のグランプリは、岩切隆史朗さん（協和小4年）の「強い人間になりたい」が選ばれました。

## 垂小学校卒業生・中武正枝さん 図書贈呈（ふるさと文庫）



2月13日、垂水小学校に中武正枝さん（宮崎県在住）からいただいた寄付金で購入した図書556冊が届きました。中武さんの寄附による本は、ふるさと文庫として今回を合わせ計6回全3,533冊の本が寄贈されています。今回の寄附をうけ、図書委員長の淵之上翔央和さん（6年生）は「みんなが楽しく読める本がいただけてとてもうれしいです。みんなに読んでもらえるよう大切にしていきたいです」と話しました。貸し出し開始の合図とともに、児童たちの行列ができ、うれしそうに本を選んでいました。

## 垂協ソフト 2大会で活躍



垂協ソフトボールスポーツ少年団が2月1日に行われた第7回指宿経節大会のスプレーマム杯で第3位、また、翌日2月2日に行われた肝属地区チーム力向上ウインターリーグでパート優勝の成績を収めました。好成績を収めた子どもたちには、笑顔があふれました。

2月15日～19日、第67回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が開催されました。レースは、初日鹿児島市役所前をスタートし、5日間で12地区の代表が53区間584.1kmを郷土の誇りをかけ、たすきを繋ぎました。垂水幹部派出所前から道の駅たるみずまでは、垂水市消防本部の龍崎唯一選手が走り、沿道からはたくさんの方の声援が送られました。大会の結果、始良市が3年連続の総合優勝となり、肝属は総合5位Bクラス優勝を果しました。



## 第67回鹿児島県下一周 市郡対抗駅伝競走大会

2月8日、垂水市建設業組合青年部の皆さんがマイロードの清掃活動を行いました。この活動は、同青年部がきれいで気持ちのいい街にしたいという思いで毎年行っているもので、一昨までは除草作業、昨年からはごみ拾いを行っています。今回は15人が参加し、マイロード（本城川～上町の鉄道記念公園）がきれいになりました。また、同青年部は、福祉施設の清掃活動や子どもたちへの出前授業なども行っており、市内のさまざまな場面で活躍しています。



## 垂水市建設業組合青年部 マイロード清掃活動